



のうえん すくすく農園だより

れいわ ねん ど ねん ど とよなか し りつみの わしょうがっこう ふじもと たか ぎ
令和2年度(2020年度) 豊中市立箕輪小学校 藤本・高木 NO. 18

5年生 じゃがいも植えつけ

すくすく農園では、毎年じゃがいもを収穫し、5・6年生の調理実習で使用しています。

来年の5・6年生の調理実習でも、じゃがいもを使用できるよう植えました。

種をまいて栽培する野菜もたくさんありますが、じゃがいもは芋を種とし(種芋)を植えて栽培します。この

種芋に虫がついていたり、病気ににかかっていたりするとよい芋ができません。そのため、種芋用の畑で

特別に育てて検査に通ったものだけを使います。今回は5年2組が種芋の準備と植えつけをしました。

じゃがいもの芽と緑色の皮には毒(ソラニン)があり食べられませんが、栽培する時には芽を出して植え

つけます。種芋の芽を切り分けるように切り、腐敗やカビを防ぐため切り口に灰をぬりつけて、乾燥させたら

種芋の完成です。じゃがいもにはメークインと男爵などの品種があり、メークインはカレーや肉じゃがに向き、

男爵はコロケやポテトサラダに向きます。今回植えた芋は『きたあかり』という品種で、男爵のような芋で

す。春頃に淡い紫 色やうすいピンク色の花を春に咲かせます。今回農園に植えたじゃがいもは、5~6月

頃にいも掘りができる予定です。



じゃがいも以外にも大根やえんどうが農園で育っています。お世話になっている福本さんが週末に畑を綺麗に整地してくださいました。綺麗になった畑で今、えんどうの白い花が咲いています。1年生はにんじんの種をまく予定です。近くに行くことがあれば見てみてくださいね。



栽培委員会で育てていたブロッコリー苗は、大果大阪青果株式会社からいただいたものです。会社の食育活動の一環として、香川県の苗を箕輪小学校にくださいました。そのブロッコリーの収穫の様子が会社のホームページ上に掲載される予定です。

興味のある方は、ホームページをご覧ください。

